



患者様中心の生活で、徹夜の日数の多さを勲章のように思っていたという若き日。人生の早い時期での修業が人を強くする、と今も信じている。

Q 学長ってどんな人?

& A 長尾学長の  
人柄が分かる  
10の質問

1 趣味は何ですか?

遍路旅。もう2回結願していて、今は3回目の足摺岬あたりです。

2 人生でもっとも心を打たれた言葉は?

「苦勞は買ってでもしろ」「艱難、汝を玉にす」「菊作り 菊見るときは陰の人」の、3つです。

3 子どもの頃になりたかった職業は?

動物園の園長です。生き物が大好きで、犬、うさぎ、ハト、カナリア、メジロ、スズメなどの野鳥も飼っていました。スズメを捕まえようとして、近所の家の瓦を剥がしてしまい、その家の人が怒鳴り込んで来たこともありましたが(笑)。

4 現在尊敬している人は?

祖父。長身の男前で、立ち姿と振る舞いが恰好良く、生き方にも凜としたフィロソフィーがありました。子ども心にも憧れました。

5 今いちばんこわい人は?

これが、いないんですよ。あえて言うなら間魔さまかな。

6 最近泣いたのはいつですか?どんなことで?

実は、ごく最近泣きました。特攻隊の出撃地だった鹿児島県の知覧の特攻平和会館で、出撃する若者が書いた辞世の手紙を読んで。

7 これだけはしたいと思っておられることは?

香川大学の改革を成し遂げたい。それから、海外の友達にゆっくり会いに行きたい。

8 生まれ変わったら何になりたいですか?

もう1回医者になるかな。作詞家や作曲家に憧れはあるけれど、才能がないとダメでしょう。医者は努力で何とかできる部分が多い。

9 好きな音楽は?

何でも聴きます。歌謡曲、唱歌、洋曲も好きです。FMラジオもよく聞いています。

10 人にひとつだけ自慢話をするとしたら、何を自慢しますか?

50人くらい優秀な後輩を育てたこと。シカゴ留学中に、一生で一番勉強して、たくさん友達を作ったこと。

**私** は40余年に渡り、診療の現場で脳神経外科医として働き、学生や若い医師の教育・指導を行いました。退官後には2つの総合病院の運営に携わり、その後、香川大学の学長に就任しました。医師として、教育者として、運営者として、最も大切だと感じたのはコミュニケーションの力です。

病気を理解してもらうことは診療現場での基本。聞き、話すことが重要です。患者様やご家族に繰り返し同じ質問をされることもありませんが、何回目であっても、質問を真摯に聞いて誠実に答えます。相手はあくまでも病氣。医師と患者は、それに立ち向かう仲間だと感じてもらうため、話し合いは厭いませんでした。病院のスタッフに對しても同様です。院長時代にもできる限り現場に行き、全スタッフの顔と名前を覚えました。顔と顔を合わせて話す

機会を大事にしていました。最もコミュニケーション力を鍛えられたのは、32歳から35歳までのアメリカの病院への留学です。ドラマ「ER」のモデルにもなったシカゴのクックカウンティ病院は周囲の治安が悪く、銃で撃たれた人が始終運ばれて来るようなところ。そこで文化背景の全く異なる人たちと仕事をすることで、日本人として培ってきた価値観だけではやっていけません。



すべての手術の記録を残している。このノートは、中でも印象深かった手術について書いたもの。ノートを見返すと、どの手術の記憶も鮮明に蘇る。

当初は、同じチームの医療技師達が、実験動物の後片付けをしないまま帰ることに驚きました。彼らは次の日の朝に掃除するのですが、私は実験後いつも、深夜にひとり掃除をして帰っていました。その姿を見た医療技師達は次第に私に人間的な信頼を寄せてくれるようになりました。みんなと仲が深まるきっかけには、日本から送ってもらったインスタントラーメンも役立ちました。昼食時に私がラーメンを作り、フロア中がおいしそうに匂いでいっぱいになると、ひとり、またひとり私の部屋にスタッフが集まるようになり、みんなで具のないラーメンを検尿コップで分け合って食べたものです。もちろんこの時期は一生で最も勉強しました。朝の5時から夜の11時まで、近くのイリノイ大学の図書館で論文を書く日々が続きました。冬の寒い時期は毛布を持ち込んで頭から

すっぽりかぶり、自分の世界を作って勉強に没頭しました。後で聞くと、私が居座っていた一角は、他の学生から「ジャパニーズ・コーナー」と言われていたようです。気が途切れかけても、歯を食いしばって続けたことで堅牢な忍耐力が養えたと思っています。学生のみならず、先「もう耐えられない」と感じるような過酷な局面を迎えることがあると思います。それでも志を貫き努力を重ねてこそ、力を蓄えられるのだと改めてください。そして、力を蓄えた者同士がオープンにコミュニケーションを深めると、強く柔軟な「塊」が生まれます。研究室や学部、学年の枠にとらわれないでください。他大学と交流してもいいと思います。多様な考えと経験を持った香川大学生が「塊」となって、世の中に働きかける時代が来る。私はそう信じています。

PROFILE

ながお せいご  
香川大学長  
医学博士  
専門分野：脳神経外科学

- 1942年4月21日生まれ。
- 1967年 岡山大学医学部卒業
- 1968年 岡山大学医学部附属病院 脳神経外科教室入局
- 1976年 米国留学 (イリノイ州クックカウンティ病院 米国シカゴ)
- 1986年 香川医科大学医学部助教授
- 1991年 香川医科大学医学部教授
- 2003年 香川大学医学部附属病院院長
- 2008年 香川大学名誉教授  
香川県厚生農業協同組合連合会 代表理事理事長
- 2011年 香川大学長

話そう。



香川大学長

長尾 省吾

2011年10月、学長に就任以来、香川大学改革を掲げ、次々と具体策を提示する長尾学長。高い志を持ち実現に向け行動する力を、どのように培ってきたのか。コミュニケーションをキーワードに語ります。